

生活・安心

中項目（政策の柱）	小項目（政策の方向性）
(1) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 結婚や出産の希望をかなえる環境づくり ■ 安心して子育てできる社会の形成 ■ 地域全体で子どもを見守り育てる社会づくり
(2) 安心で質の高い医療・福祉サービスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来にわたり安心できる地域医療の確保 ■ 高齢者や障がいのある方々などが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の形成 ■ 道民一人ひとりの生涯を通じた健康づくりの推進と疾病の予防
(3) 豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承	<ul style="list-style-type: none"> ■ 豊かな自然の価値・恵みの保全と次代への継承 ■ 人と自然・生き物が共生する社会づくり
(4) 環境負荷を最小限に抑えた持続可能な社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な主体の協働による社会システムの脱炭素化 ■ 森林等の二酸化炭素吸収源の確保 ■ 気候変動の影響への適応策の推進 ■ 北海道らしい循環型社会の形成
(5) 道民生活の安全の確保と安心の向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道民の命と暮らしを守る安全・安心な社会づくり ■ 豊かな食生活を実現する食の安全・安心の確保 ■ 人々が互いに尊重しあう社会づくり
(6) 安全・安心な生活の基礎となる防災体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防災体制の整備や防災教育による地域防災力の向上 ■ 災害に強い地域づくりの推進
(7) 強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服 ■ 被災リスクの最小化に向けたバックアップ機能の発揮 ■ 感染症に強い強靱な社会の構築

追加・修正の主なもの

内 容	本文
○ 生活困窮者やひとり親世帯等を重層的に支えていく取組の推進	p34
○ 動物の愛護及び管理の取組の推進	p35
○ 脱炭素型のライフスタイルやビジネススタイルへの転換に向けた、道民一人ひとりの意識転換や行動変容を促す取組の推進	p37
○ 地産地消を基本とした水素サプライチェーンの構築	p37
○ ZEB, ZEHの普及など建築物の脱炭素化	p37
○ ESG投資の普及拡大	p37
○ 二酸化炭素吸収量の確保に向けた、森林の整備・保全	p37
○ 気候変動の影響を回避・軽減する取組の推進	p38
○ 情報セキュリティ意識の向上を図るための住民への注意喚起や関係機関、民間事業者・団体等との連携の推進	p39
○ 共生社会の実現に向けた、人権教育・啓発の推進	p40
○ アイヌ政策の総合的な推進	p40
○ 感染症への対策等を踏まえた避難生活環境の整備	p41
○ 検査体制や医療提供体制の強化	p44
○ 保健所機能の再構築	p44
○ オンライン授業の推進	p44
○ サプライチェーンの強靱化	p44
○ 持続可能な公共交通・物流の構築	p44

追加・修正の主なもの

中項目（政策の柱）	小項目（政策の方向性）	内 容	本文
(1) 農林水産業の持続的な成長	<ul style="list-style-type: none"> ■ 潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり ■ 水産物の安定供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり ■ 林業・木材産業の振興を図り、資源の循環利用を進める森林づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマート農業の加速化 ○ ICT等を活用した、コンブなどの漁場の効果的管理や生産過程の自動化の促進 ○ ICT等を活用した、北海道らしい「林業イノベーション」の推進 	<p>p45 p46 p46</p>
(2) 本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高い付加価値を生み出すものづくり産業の振興 ■ 地域資源を活かした食関連産業の振興 ■ 本道の立地優位性を活かした企業誘致の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村と連携した、サテライトオフィスや本社機能の移転などの誘致活動の展開 	<p>p47</p>
(3) 中小・小規模企業の振興や地域商業の活力再生	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の経済・雇用を支える中小・小規模企業の振興 ■ 住民の暮らしを支える地域商業の活性化 ■ 地域の安全・安心に欠かせない建設産業の振興 		
(4) 新たな成長産業への挑戦や研究開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康長寿・医療関連産業の創造 ■ 新エネルギーの開発・活用促進や環境・エネルギー産業の創造 ■ 本道の活性化に役立つ科学技術の振興 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新エネルギーの最大限の活用 ○ 水素等の有効活用 ○ VPP, DRなど新たな技術の開発・活用の促進 ○ AI・IoT、ロボット技術の導入に向けた研究開発の支援、産業の変革に向けたデジタル技術の活用推進 	<p>p52 p52 p52 p52</p>
(5) 海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展	<ul style="list-style-type: none"> ■ アジアなど海外への北海道産食品の輸出拡大 ■ 海外展開によるビジネス創出と海外からの投資の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 販路開拓・拡大や付加価値の高い商品開発の促進 	<p>p53</p>
(6) 道民をはじめ国内、そして世界中から愛される「観光立国北海道」の実現	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「観光立国北海道」の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症対策などに配慮した受入体制の確立 ○ 自然環境や食など本道の観光資源のブランド化の強化 ○ 欧米等新規市場の開拓など、持続的な観光市場の拡大 ○ アドベンチャートラベル等の体験型観光の推進 ○ 道内空港を利活用した広域周遊観光の促進 	<p>p55 p55 p55 p55 p56</p>
(7) 良質で安定的な雇用の場づくりと産業人材の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 雇用の受け皿づくりと産業人材の育成・確保 ■ 多様な働き手の就業支援と就業環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道外・海外からの人材誘致 ○ 最先端の職業教育を行う「スマート専門高校」の実現に向けた、産業教育設備の整備 ○ テレワークの推進など、企業における多様で柔軟な働き方がしやすい環境整備 	<p>p57 p57 p58</p>

人・地域

中項目（政策の柱）	小項目（政策の方向性）
(1) 協働によるまちづくりの推進や地域コミュニティの再構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域で互いに支え合うまちづくりの推進 ■ 北海道のポテンシャルを活かした移住・交流の促進
(2) 北海道の未来を拓く人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ ふるさとへの誇りと愛着を育み、これからの北海道を担う人づくり ■ グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成 ■ 次代の社会を担う子ども・青少年が健全に育成される環境づくり
(3) だれ一人取り残さない、だれもが活躍できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■ 意欲と希望のある高齢者や障がいのある方々の活躍促進 ■ 社会のあらゆる分野で女性の力が発揮できる環境づくり
(4) ふるさとの歴史・文化の発信と継承	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北海道独自の歴史・文化の発信と次代への継承 ■ 先人から受け継いだ財産を活かした新たな展開 ■ 生活に潤いと豊かさをもたらす芸術文化の振興
(5) 世界に飛躍するスポーツ王国北海道の実現	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域スポーツ活動の推進と環境の充実 ■ 世界の舞台で活躍するトップアスリートの育成
(6) 連携・協働・交流による未来に向けた地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個性と魅力を活かし様々な連携で進める地域づくり ■ 国際交流と多文化共生の推進 ■ 北方領土の早期返還と隣接地域の振興
(7) 持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業活動や暮らしを支える社会資本の戦略的・効率的な整備 ■ 連携と交流を支える総合的な交通ネットワークの形成 ■ 地域の可能性を広げるデジタル・トランスフォーメーションの推進

追加・修正の主なもの

内 容	本文
<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係人口の創出・拡大に向けた、道外の方々が北海道と関わるきっかけの提供や、北海道とのつながりを強化する取組の推進 ○ 北海道の魅力の発信を通じた、幅広い年代層の移住・定住の促進 ○ ワークেশョンの推進 	<p>p59</p> <p>p60 p60</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症や災害発生時における学びの確保 ○ 地域の将来を担うIT人材の育成 	<p>p61 p61</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者の文化芸術活動の推進や読書バリアフリーの推進 	<p>p63</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道についての理解を深め、郷土に対する誇りや愛着を育む教育の充実 ○ 道立近代美術館の国内外への発信や機能強化 	<p>p65</p> <p>p66</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係人口や道外企業などと連携・協働した地域づくりの推進 ○ 市町村の広域連携の推進 	<p>p69 p69</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共交通利用者と交通事業者の双方による感染症対策の実践 ○ 交通インフラ整備と自動運転やMaaSの連動などによる、利便性の高い交通環境の実現 ○ ICTやAI、ロボットなどの未来技術の活用 ○ 地域IT企業の競争力強化に関する取組の推進 ○ IoTの実装や官民データを活用した新たなサービス開発などのイノベーションの創出 ○ デジタル技術やデータの活用などによる業務の効率化・省力化 	<p>p72 p72</p> <p>p73 p73 p73</p> <p>p73</p>